

令和2年度県民活動推進関連事業の実施結果概要

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
1 県民活動への理解や参加の促進	(1) 県民活動の普及啓発の推進	1	千葉県ホームページでの情報発信	県ホームページの特設サイト「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」において、NPO法人情報及び県のNPO・ボランティア関連施策情報、民間団体からの助成情報等を掲載します。 また、ボランティア関連情報のページに、各種ボランティアの募集情報や東京オリンピック・パラリンピック関連情報、災害ボランティア関連情報等を掲載します。	「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページビュー数 900,000件	【アクセス件数】(R3年3月末現在) ・県ホームページ(「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページ)ページビュー数:544,272件 【情報発信件数】(R3年3月末現在) ・民間団体等からの助成情報:108件 ・千葉県が募集しているボランティア情報:22件	環境生活部 県民生活・文化課
		2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信	NPO・ボランティア活動関連の各種事業やイベントなどの情報を随時配信します。 また、ボランティア活動の参加を促す効果的な情報発信の方法について検討します。	年24回(月2回)配信	配信回数:32回(R3年3月末現在) 内容:研修会、イベント情報、助成金情報、ボランティア情報等。 会員数:2,621名	環境生活部 県民生活・文化課
		3	県民活動情報オフィスの運営	県庁本庁舎2階の「県民活動情報オフィス」において、NPO法人の縦覧及び閲覧、NPO法人の設立時の各種相談、NPO・ボランティア関連情報の提供、ミーティングルーム等の貸出等のサービスを提供します。	オフィス利用者 1,500名	オフィス利用状況(R3年3月末現在) ○窓口対応:567名 ○電話問合せ等対応:79名 ○ミーティングスペース利用:492名 計 1,138名	環境生活部 県民生活・文化課
		4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発	市民活動の基礎知識等を掲載したリーフレットや、各種普及啓発用グッズを様々な機会を捉えて配布し、県民活動の普及啓発を行います。	各種行事への出展 3回	11/1 エコメッセ オンライン出展	環境生活部 県民生活・文化課
		5	都市ボランティアの募集・運営	東京2020大会開催時及びその前後の期間において、会場最寄駅や主要駅、空港などで本県を訪れる旅行者等に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」を募集し、関係市町と連携し運営を行います。 さらに、東京2020大会に向けた取組を一過性のものとせず、醸成した機運や活動の継続などを県全域に波及させ、大会後のレガシー(持続的効果)として、ボランティア活動の更なる発展につなげることを目指します。	機運維持のための取り組みを実施します。 メルマガ配信24回 Facebook投稿60回	機運維持の取組として、メールマガジンの配信(28回)やFacebook投稿(34回)に加えて、オンライン交流会(7回)やオンライン勉強会を実施しました。	環境生活部 県民生活・文化課
		6	県民活動PR月間の実施	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月(11/23~12/23)を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行います。	ちば県民活動PR月間賛同行事 20件	賛同行事:12件	環境生活部 県民生活・文化課
		7	出前説明会等の実施	NPOやボランティアの基礎知識、県の施策状況などについての説明会を県内各地に赴き、実施します。	開催 15回	全6回の開催をしました。(R2年度からオンライン開催を可能とし、うち2回をオンライン開催としました。)	環境生活部 県民生活・文化課
		8	法人化説明会の実施	NPO法人格の取得を検討している方を対象に、NPO法人制度や設立手続についての説明会を千葉市と共催で月1回開催します。 また、うち4回は夜間に開催します。	開催 12回	開催回数8回 参加者人数39人 (内訳) 第1回(4/9)中止、第2回(5/14)中止、 第3回(6/11)5人、第4回(7/9)4人、 第5回(8/13)6人、第6回(9/10)7人、 第7回(10/8)5人、第8回(11/12)4人、 第9回(12/10)中止、第10回(1/14)4人、 第11回(2/10)4人、第12回(3/11)中止 ※第1回、第2回及び第12回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第9回は参加申込者0人のため中止としました。	環境生活部 県民生活・文化課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
1 県民活動への理解や参加の促進	(1) 県民活動の普及啓発の推進	9	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業	自主防犯活動に意欲のある若い世代(県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満)により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図ります。 また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施します。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。	新型コロナウイルス感染防止のため、キャンペーン等のイベントが中止となったことに伴い、活動はありませんでした。 令和2年度の新規会員数は6人でした。	警察本部 生活安全部 生活安全総務課
		10	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施します。 その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催します。 さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施します。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。	・警察官との合同パトロール 785件 ・防犯講話 1,840件 ・広報啓発キャンペーン 265件 (令和2年度中)	警察本部 生活安全部 生活安全総務課
	(2) 県民活動を体験する機会の提供	11	ボランティア活動への参加促進	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施します。	2事業	企画提案による業務委託で実施しました。 採択2団体(応募2団体) ①ちば里山・バイオマス協議会「千葉の里山でおもてなし持続可能社会に向けたボランティア活動」 ・7/5キックオフミーティング(参加者40名) ・8/8森林セラピーと竹楽器作り(参加者38名) ・9/20竹林整備と薪作り(参加者46名) ・9/27循環型社会転換シンポジウム(参加者50名) ・10/17芋掘りボランティア(参加者24名) ・竹林整備・竹炭づくり体験(参加者40名) ・チクリ整備ボランティア(参加者31名) ②特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ「ちばプロボノチャレンジ2020」 ・支援希望団体の募集(10団体) ・社会人ボランティアの向け説明会の開催(65名参加) ・説明会後の参加登録状況(28名)	環境生活部 県民生活・文化課
		12	ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会の開催	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催します。	開催 2回 参加 各40名	①2/25 令和2年度第1回ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 (兼 令和2年度ボランティアコーディネーター研修会【災害編】) 講師: 特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄氏 参加者: 150名 ②3/13 令和2年度第2回ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 「2020大会関連ボランティアとつくる地域のボランティア活動」 講師: ・県民生活・文化課職員 ・木更津市社会福祉協議会地域福祉係 係長 上野順子氏、主査 土田将之氏 ・浦安市社会福祉協議会地域福祉課 主事 菊地優香氏 ・浦安市市民活動センター コーディネーター 畑山文恵氏 ・印西市市民活動支援センター センター長 宮本律子氏 ・あびこ市民活動ステーション マネージャー 高橋由紀氏 参加者: 25名	環境生活部 県民生活・文化課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
1 県民活動への理解や参加の促進	(2) 県民活動を体験する機会の提供	13	#ちよいボラキャンペーン	都市ボランティアに募集条件等で参加できない児童・生徒等に対して『ちよっとしたことでも「おもてなし(ボランティア)』はできる』というのを体験してもらい、「おもてなしの心」や「共生」などについて肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成することを目的としています。 本キャンペーンにより、児童・生徒の家族や親、友人、学校や各種団体等、多世代の様々な主体が関わることができる仕組みを実施することで、オール千葉でのおもてなしに寄与します。	#ちよいボラ 報告5件	・「#ちよいボラ」問合せ42件 ・報告 49件	環境生活部 県民生活・文化課
		14	都市ボランティア体験プログラムの募集・運営	東京2020大会において、募集条件等から都市ボランティアとして参加できない若い世代である生徒(中高生)などが、都市ボランティアへ参加・体験することで、「おもてなしの心」や「異文化交流」、「共生」について肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成します。 なお、活動エリアは千葉市・一宮町・成田市・成田空港とします。	機運維持のための情報発信を2回程度行う	・イベント等の情報発信 4回 ・広報部隊「チームYELL」を結成	環境生活部 県民生活・文化課
		15	地域と連携した福祉教育の推進	県民の福祉に対する理解と関心を深め、福祉活動への自発的な参加意欲を醸成するため、 ・小・中・高校を対象に福祉教育推進校を指定 ・福祉教育研究県大会及び福祉教育推進員養成研修を実施します。	新たな推進校の指定を行います。 福祉教育研究県大会の開催を行います。 福祉教育推進員養成研修の実施を行います。	・令和2年度指定校 小学校10校、中学校7校、高等学校6校 ・福祉教育研究県大会 参集による開催を中止し、代えて冊子を作成し配布を行った。 ・福祉教育推進員養成研修 実施日 8/6(Zoom),12/7~2/6(オンデマンド) 修了者数:0名(新型コロナの影響による)	健康福祉部 健康福祉指導課
		16	ボランティア活動の振興(ボランティア振興事業)	ボランティア等の民間福祉活動の育成発展を図るため、各種ボランティア研修事業等を行う千葉県ボランティア・市民活動センターの運営や研修事業を補助します。	千葉県ボランティア市民活動センターの運営事業補助を行います。 研修事業補助(ボランティア・市民活動コーディネーター研修、リーダー研修、新たな担い手育成セミナー)を行います。	・ボランティアリーダー研修(5回開催) 実施予定期間に緊急事態宣言が再発令されたため中止 ・ボランティアリーダーマネジメント研修 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・ボランティア・市民活動支援センター研修 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・ボランティアコーディネーター研修 <精神編> ※隔年開催により実施なし <災害編> 実施日 2/25開催 参加人数150名 ・大学生のボランティア・市民活動推進セミナー 実施日 2/23開催 参加人数21名	健康福祉部 健康福祉指導課
		17	高校生のためのボランティア体験講座	ボランティア活動に関心のある千葉県内の高等学校に在学している者を対象に、様々な分野のボランティアについての講義と演習を実施します。	開催日数 各会場で3日間 7時間以上の実習 3会場 参加者数 計110名	開催日数 各会場1日間 4会場 参加者数 計194名	教育庁教育振興部 生涯学習課 (さわやかちば県民プラザ)
		18	体験活動ボランティア活動入門講座	体験活動やボランティア活動を始めたいと思っている方や興味のある方を対象に、体験活動やボランティア活動の基本や身近にできるこれらの活動について学ぶ講座を開催します。	開催 1回 参加数 30名	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため7月から9月に延期するとともに定員を20名に縮小して実施しました。 参加者数13名	教育庁教育振興部 生涯学習課 (さわやかちば県民プラザ)
		19	体験活動ボランティア活動実践講座	体験活動やボランティア活動の意義、プログラム企画立案、運営上の留意点などを体験的に学ぶことで、実践的技術の向上を図る講座を開催します。	開催 1回 参加者数 30名	・9月に実施 ・新型コロナウイルス感染症対応のため、定員を20名に縮小 ・参加者数13名	教育庁教育振興部 生涯学習課 (さわやかちば県民プラザ)
		20	教育支援実践研究交流会	教育支援を行っているNPOや学校支援団体等を対象に、事例研究や講演、情報交換を通し、資質向上や参加者間のネットワーク構築を図ります。	開催 1回 参加者数 100名	・緊急事態宣言発令のため、形式をオンラインに変更して2月に実施 ・参加者数25名	教育庁教育振興部 生涯学習課 (さわやかちば県民プラザ)

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
1 県民活動への理解や参加の促進	(2) 県民活動を体験する機会の提供	21	ちば子ども大学	ちば子ども大学事業で実施する講座のうちの1講座で、小学校4年生から中学3年生を対象に、ボランティア活動家からの学びを得た後、「ぶちボラ」で最初の1歩を踏み出すことにより、ボランティアへの意欲向上を図ります。	開催日数1日間 参加者数 30名	・新型コロナウイルス感染症対応のため定員を12名に縮小して実施 ・参加者数9名	教育庁教育振興部 生涯学習課 (さわやかちば県民プラザ)
2 地域コミュニティを支える人材づくり	(1) 様々な県民活動で活躍する人材づくり	22	次世代ボランティア人材育成事業	地域コミュニティを構成する様々な主体が、連携・協働しながら、地域を担う次世代のボランティア人材を、効率的かつ持続的に育成することを狙いとして、市民活動団体等から企画提案を募集しています。	市民活動団体等からの企画提案に沿った事業の実施	委託先: 特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば 業務名: 2020ちばおもてなし隊 ビルドアップステージ~中高生のボランティア活動を確かなレガシーに~ ①8/1~12/31 おもてなし動画アワード2020 応募数 28件 ②11/8,11/14 オンラインでワークショップ! わたしたちのおもてなし 参加者: 21名 ③2/21 オンラインでフォーラム みんなでつくるわたしたちのおもてなし 参加者: 48名	環境生活部 県民生活・文化課
		23	コーディネータースキルアップ講座	市民活動支援センター、ボランティアセンタースタッフのコーディネーションスキル向上を目的としたセミナーを開催します。	2回開催	2/25 令和2年度第1回ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 (兼 令和2年度ボランティアコーディネーター研修会【災害編】) 講師: 特定非営利活動法人 いがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄氏 参加者: 150名	環境生活部 県民生活・文化課
		24	災害時外国人サポーター養成講座	災害時における外国人支援として、外国語通訳や避難所での対応の仕方など外国人支援を行うサポーター養成講座を開催します。	3回開催	委託先: (特非) 多文化共生マネージャー全国協議会 【結果】 第1回(11/6) 形式: オンライン形式 参加者: 31名(市町村職員) 県民を対象とした以下の講座については新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、開催市と協議の上、開催中止といたしました。 第2回(1/16) 会場: 銚子市内 第3回(1/30) 会場: 木更津市内(君津市と共催)	総合企画部 国際課
		25	災害対策コーディネーターの養成	地域の防災活動や災害時の支援活動において中心的な役割を担う「災害対策コーディネーター」など、地域の防災リーダーを養成する市町村の取組について、「千葉県地域防災力向上総合支援補助金」の活用等により支援します。	災害対策コーディネーターの増加	3市において養成講座を実施し、新たに災害対策コーディネーターとして登録された方を含め、令和3年3月末時点の登録者数が1,525名となり、前年度末と比較し、80名増加しました。(実施市町村: いすみ市、富津市及び袖ヶ浦市)	防災危機管理部 防災政策課
		26	災害対策コーディネータースキルアップ講座	災害対策コーディネーターが、広域的な連携・協力関係を築き、より実践的な防災知識を習得するため、災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催します。	-	令和3年2月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。	防災危機管理部 防災政策課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
2 地域コミュニティを支える人材づくり	(1)様々な県民活動で活躍する人材づくり	27	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)育成事業	地域福祉活動を担う方を対象とする「基礎研修」、社会福祉等に係る個別支援又は相談支援を担う方を対象とする「専門研修」、専門研修の修了者を対象とする「フォローアップ研修」を実施し、地域において活躍する人材の育成・スキルアップを図ります。	①基礎研修 定員150名以上 ※複数回の開催の場合は合計 ②専門研修 定員30名以上 ※複数回の開催の場合は合計 ③フォローアップ研修 定員20名以上 ※複数回の開催の場合は合計	・基礎研修延べ受講者数 0名 (新型コロナの影響で中止/実施予定数5日) ・専門研修修了者数 38名 (実施数5日/実施予定数5日) ・フォローアップ研修受講者数 34名 (実施数1回/実施予定数1回)	健康福祉部 健康福祉指導課
		28	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成	高齢者が地域の様々な問題解決に向け、専門性を身につけ、地域活動の担い手として活躍することができる人材を養成します。	入学者数の増加	新型コロナウイルス感染症拡大により休校(R2年度、3年度休校)	健康福祉部 高齢者福祉課
		29	元気高齢者活躍サポート事業	高齢者の社会参加を促し、高齢者が地域の担い手として活躍できるよう生活支援の担い手の養成等を行う事業に対し補助を行います。	養成人員400人	養成人数 340人	健康福祉部 高齢者福祉課
		30	食生活改善推進員研修事業	地域で活動している食生活改善推進員(以下「推進員」という。)に対し、教育研修を開催し資質の向上を図るとともに、推進員や一般県民を対象とした各種料理教室等を開催することによって県民の食生活の改善を推進します。	(1)地域別研修の開催 11回 (2)中央研修会の開催 1回360名 (3)一般財団法人日本食生活協会が実施する研修会等への推進員の派遣 (4)推進員や一般県民を対象とした各種料理教室等の開催 110回	(1)地域別研修の開催 9回 (2)中央研修会の開催 中止 (3)一般財団法人日本食生活協会が実施する研修会等への推進員の派遣 実施延期のため、派遣なし (4)推進員や一般県民を対象とした各種料理教室等の開催 125回	健康福祉部 健康づくり支援課
		31	がん検診推進員育成講習会事業	各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、「がん検診推進員」として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を目指します。	年6回の講習会を開催し、がん検診推進員の増員を図る。	印旛・山武保健所管内 10/12開催、参加者20名 香取・海匠保健所管内 10/23開催、参加者26名 他の保健所管内については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、開催を見送った。	健康福祉部 健康づくり支援課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
2 地域コミュニティを支える人材づくり	(1)様々な県民活動で活躍する人材づくり	32	精神保健福祉ボランティア育成事業	現在活動中の「精神保健福祉ボランティア」及び「心の保健医療通訳ボランティア」を対象に、フォローアップ講座や研修会を開催します。(精神保健福祉センターにおいて実施)	・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 精神保健福祉担当者研修と兼ねて開催 ・心の保健医療通訳ボランティア講座 講座の開催	・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い単独開催せず、令和2年度自殺対策相談支援者研修会(兼)精神保健福祉担当者研修の研修対象者に含めた。会場の人数制限により2名の参加希望者に後日資料配布。 日時:11/17(火)会場:千葉市文化センター5階セミナー室 講義:「死にたいと言わないハイリスク者にどう気付くか?～ワンストップ支援を考える～」講師:江戸川大学社会学部人間心理学科准教授 堀内 美穂子氏 講義:「生活困窮と自殺」 講師:特定非営利活動法人ほっとぷらす 代表理事 藤田 孝典氏 ・心の保健医療通訳ボランティア講座 日時:3/1/27会場:千葉市文化センター5階セミナー室 講義1「精神科での診察の流れと通訳」 講師:精神保健福祉センター長 林 偉明 講義2「通訳対応時における通訳の役割について」講師:精神保健福祉センター調査研究課長 水野 和佳子 講義3「通訳対応時における通訳の役割について」講師:健康福祉部障害者福祉推進課精神通報対応班 新宮 昌志氏 講義4:「入院した外国人事例へのソーシャルワークの実際 新型コロナウイルス編」 講師:精神科医療センター生活療法科部長 灘 紀英氏 参加者:26名	健康福祉部 障害者福祉推進課
		33	ちば食育ボランティアの活動支援	ちば食育ボランティアに対する基礎研修とスキルアップ研修を行います。 (ちば食育ボランティア登録者数3,810名※令和2年5月末現在)	・ちば食育ボランティア研修会 年度内2回の開催。 ・参加数50名×2回。	8月 第1回研修会(基礎研修) 書面により開催 参加者:500名うちアンケート回答数58名 内容:ボランティア、サポート企業、市、県の取り組み事例等 11月 第2回研修会(スキルアップ研修) 「千葉県公式セミナーチャンネル」に研修会の動画を配信し、概要資料を配布。 参加者:500名 内容:withコロナ時代で変化する食育活動のアドバイス、紙芝居動画の紹介	農林水産部 安全農業推進課
		34	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業	学校と地域が連携して、地域コミュニティを構築し、地域の子供たちを地域で育てていくため、学習支援や環境整備、登下校時の見守りなど、地域と学校が連携・協働して行う活動や学習が遅れがちな中学生等を対象とした原則無料の学習支援など、地域学校協働活動を推進します。 そのため、地域学校協働活動推進員や協働活動サポーターを養成する研修会を開催します。	地域学校協働本部がカバーする小中学校の割合を令和元年度より上げます。 (政令市・中核市は除く) ※R1実績:24市町226本部328校(カバー率38.9%)	地域学校協働本部がカバーする小中学校の割合は令和元年度より上がりました。(政令市・中核市は除く) ※R2実績:42市町271本部474校(カバー率58.8%)	教育庁教育振興部 生涯学習課
		35	放課後子供教室推進事業	すべての子供を対象として、放課後や土曜日等に小学校の余裕教室等を活用し、安全に配慮しながら地域住民の参画を得て、交流活動等に取り組むなど、心豊かで健やかな子供の育成を目指します。 そのため、コーディネーターや教育活動サポーターを養成する研修会を開催します。	放課後子供教室がカバーする小学校の割合を令和元年度より上げます。(政令市・中核市は除く) ※R1実績:31市町250教室205校(カバー率35.8%)で実施	放課後子供教室がカバーする小学校の割合は令和元年度より上がりました。(政令市・中核市は除く) ※R2実績:30市町238教室211校(カバー率47.3%)で実施	教育庁教育振興部 生涯学習課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
2 地域コミュニティを支える人材づくり	(1)様々な県民活動で活躍する人材づくり	36	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催	絵本の読み聞かせについての講演及び参加者による実演と講師のアドバイス等を行い、読書の重要性や本の選び方、読み聞かせの方法など、実践に役立つスキルを学びます。	開催回数2回、参加者80名	9/30 読み聞かせボランティア入門講座 テーマ「絵本の読み聞かせ—選び方と読み方の実践—」講師:小谷孝子氏、川寄麻希子氏(船橋市・南房総市 ゆか下文庫) 会場:館山市中央地区学習等共用施設菜の花ホール 参加者:23名	教育庁教育振興部 生涯学習課 (中央図書館)
	(2)東京2020大会を契機とした人材づくりとレガシーの創出	37	都市ボランティアの募集・運営(再掲)	東京2020大会開催時及びその前後の期間において、会場最寄駅や主要駅、空港などで本県を訪れる旅行者等に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」を募集し、関係市町と連携し運営を行います。 さらに、東京2020大会に向けた取組を一過性のものとせず、醸成した機運や活動の継続などを県全域に波及させ、大会後のレガシー(持続的効果)として、ボランティア活動の更なる発展につなげることを目指します。	機運維持のための取り組みを実施します。 メルマガ配信24回 Facebook投稿60回	機運維持の取組として、メールマガジンの配信(28回)やFacebook投稿(34回)に加えて、オンライン交流会(7回)やオンライン勉強会を実施しました。	環境生活部 県民生活・文化課
		38	#ちよいボラキャンペーン(再掲)	都市ボランティアに募集条件等で参加できない児童・生徒等に対して『ちょっとしたことでも「おもてなし(ボランティア)』はできる』ということを体験してもらい、「おもてなしの心」や「共生」などについて肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成することを目的としています。 本キャンペーンは、児童・生徒の家族や親、友人、学校や各種団体等、多世代の様々な主体が関わることができる仕組みを実施することで、オール千葉でのおもてなしに寄与することができます。	#ちよいボラ 報告20件	・「#ちよいボラ」問合せ42件 ・報告 49件	環境生活部 県民生活・文化課
		39	都市ボランティア体験プログラムの募集・運営(再掲)	東京2020大会において、募集条件等から都市ボランティアとして参加できない若い世代である生徒(中高生)などが、都市ボランティアへ参加・体験することで、「おもてなしの心」や「異文化交流」、「共生」について肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成する。 なお、活動エリアは千葉市・一宮町・成田市・成田空港とする。	機運維持のための情報発信を2回程度行う	・イベント等の情報発信 4回 ・広報部隊「チームYELL」を結成	環境生活部 県民生活・文化課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
3 市民活動団体等の基盤強化等の支援	(1)市民活動団体等の組織運営力等の向上支援	40	市民活動団体マネジメント事業	市民活動団体が安定的・継続的に活動していくために必要な運営能力の向上を図るため、市町村と共催で市民活動団体マネジメント講座を実施します。 講座は活動経験の浅い団体向けの基礎編と、ある程度活動経験を積んだ団体向けの応用編を開催し、マネジメント能力の向上を促進する。	講座満足度80%	<p>受託団体:認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ</p> <p>①9/7 オンライン会議を体験してみよう! +「Withコロナ」での活動を考える『ちえのわ』 講師:青木将幸ファシリテーター事務所代表・青木将幸氏 講座満足度:80%</p> <p>②9/18 オンライン会議のファシリテーション講座 講師:青木将幸ファシリテーター事務所代表・青木将幸氏 講座満足度:69.2%</p> <p>③9/26 “寄付しようかな”の最後の一步を促す寄付募集チラシづくりのコツ 講師:株式会社ガハハ・ディレクター 林田全弘氏 講座満足度:70.3%</p> <p>④11/18 NPO法人の日常会計処理&事業報告書作成講座 講師:加藤税理士事務所・加藤達郎氏 講座満足度:47.3%</p> <p>⑤12/11 NPO法人の労務講座 講師:社会保険労務士・石井 敏則氏 講座満足度:72.5%</p> <p>⑥2/10 「Withコロナ」での活動を考える『ちえのわ』情報交換・課題共有し、次のステップへ 講師:とうかつ草の根フードバンク 事務局長 高橋 亮氏、NPO法人船橋ウォーキング・ソサイエティ 代表 佐藤ヒロ子氏、(一社)マザーズコンフォート 代表 大谷 明子氏、NPO法人ダイバーシティ工房 職員 宮坂奏子氏、NPO法人千葉自然学校 職員 富田 拓郎氏 講座満足度:61.2%</p>	環境生活部 県民生活・文化課
	(2)中間支援組織の機能強化支援	41	ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会の開催(再掲)	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催します。	開催回数:2回 参加人数各40名	<p>①2/25 令和2年度第1回ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 (兼 令和2年度ボランティアコーディネーター研修会【災害編】) 講師:特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏 参加者:150名</p> <p>②3/13 令和2年度第2回ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 「2020大会関連ボランティアとつくる地域のボランティア活動」 講師: ・県民生活・文化課職員 ・木更津市社会福祉協議会地域福祉係 係長 上野順子氏、主査 土田将之氏 ・浦安市社会福祉協議会地域福祉課 主事 菊地優香氏 ・浦安市市民活動センター コーディネーター 畑山文恵氏 ・印西市市民活動支援センター センター長 宮本律子氏 ・あびこ市民活動ステーション マネージャー高橋由紀氏 参加者:25名</p>	環境生活部 県民生活・文化課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
3 市民活動団体等の基盤強化等の支援	(2) 中間支援組織の機能強化支援	42	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化	市民活動支援組織の機能向上及び連携強化のため、県内の主要な市民活動支援組織の関係を構成員とする千葉県市民活動支援組織ネットワークを運営し、支援組織に必要とされるノウハウや知識を習得するための研修を実施します。	ネットワーク会議等の開催回数 4回	○幹事会 日時: 6/30 会場: 県民活動情報オフィス 参加者: 16名 ○防災作業部会 第1回 日時: 6/11(オンライン開催) 参加者: 16名 第2回 日時: 11/30 会場: 危機管理センター(オンライン併用) 参加者: 9名 ○人財作業部会 日時: 6/12 会場: 県民活動情報オフィス 参加者: 13名 ○ネットワーク会議 第1回 日時: 11/10(オンライン開催) 参加者: 37名 第2回 日時: 12/21(オンライン開催) 参加者: 30名	環境生活部 県民生活・文化課
	(3) 民が民を支える仕組み	43	民が民を支える仕組みの普及・支援	寄附文化の醸成と市民活動団体の資金調達に係る情報発信を行います。 令和元年度に運用を開始した国民の休眠預金等を公益的な民間活動に活用する制度について、HP、メルマガ等で情報発信する他、寄附月間の賛同パートナーとして、寄附をテーマとしたセミナーを開催します。 また、実施に当たっては社会全体で公益を支える仕組みを構築する「民が民を支える仕組み構築モデル事業」(H23～24)を引き継いだ公益財団法人ちばのWA地域づくり基金と連携します。	寄附・資金調達をテーマとしたセミナー1回の開催	・休眠預金等活用制度についてメルマガ等での広報を実施。 ・協働によるコミュニティづくりの普及・促進を目的としたセミナーにおいて、制度における資金調達のポイントの講演と採択事例の紹介を行った。 ○セミナー 日程: 1/22 実施方法: オンライン 参加者: 27人	環境生活部 県民生活・文化課
4 地域の様々な主体と市民活動団体の連携・協働の促進	(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進	44	協働によるコミュニティづくりの普及・促進	協働促進についての課題を抱えている地域等を対象に、市町村と地縁団体、市民活動団体、企業等が、協働による取組を検討する契機となるよう、有識者による講演や優良事例の共有等を行います。 また、各地で活動を行っている主体が、地域を超えた連携・協働につながる契機となるような交流会を実施します。	県内6地域で実施	【結果】※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため全てオンライン開催により実施。 ①「SDGsを合言葉に！NPOと企業の連携を考える」(1/15、参加者22名) ②「協働による地域づくりの必要性と推進のポイント」(1/19、参加者68名) ③「休眠預金活用事例に学ぶ資金調達のポイント」(1/22、参加者27名) ④「日常の取組を災害時にも」(3/7、参加者33名) ⑤「ちばコラボ大賞交流会」(3/10、参加者15名) ⑥「SDGsを実践！身近な地域課題を協働で同時解決しよう」(3/17、参加者32名)	環境生活部 県民生活・文化課
		45	ちばコラボ大賞	市民活動団体が地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等と連携して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組んでいる事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例に取り組んでいる団体を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりの促進を図ります。	応募件数 15件以上(令和元年度7件) 表彰事例 3事例 (令和元年度3事例)	6/1～8/3 事例の募集(応募6件) 10/23 外部委員による審査会 12/23 表彰式及び事例発表会	環境生活部 県民生活・文化課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
4 地域の様々な主体と市民活動団体の連携・協働の促進	(1)地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進	46	千葉県男女共同参画フェスティバル	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、県民が男女共同参画への理解を深める機会とするとともに、男女共同参画に取り組む民間団体と県民の交流の場を提供する「千葉県男女共同参画フェスティバル」を開催します。 ・企画運営委員会(ボランティア)の設置 ・講演会の開催 ・ワークショップの開催	開催回数1回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	総合企画部 男女共同参画センター
		47	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進	地域住民が、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、NPO等地域福祉の担い手、更には福祉以外の各分野の人たちと協働して、地域における福祉等のあり方・取組みを考えていく組織である地域福祉フォーラムの設置を促進します。	新規設置数 ・基本 5箇所 ・小域 20箇所	新規設置数 ・基本2箇所 ・小域1箇所	健康福祉部 健康福祉指導課
		48	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業	防犯ボックスのさらなる普及に向け、住民に最も身近な市町村が主体となり設置する防犯ボックスの初期費用や運営費について助成します。 また、県が平成27年度までに設置した千葉市、柏市、船橋市の計3箇所の防犯ボックスについては、引き続き県が運営します。	2市町村に新たに助成を実施	市町村に要望について確認したところ、新規設置の要望がなかったことから、新たに助成行いませんでした。	環境生活部 くらし安全推進課
		49	中小企業総合支援事業費補助金	千葉県の指定する地域産業資源を活用した新商品・新サービス等の開発及び販路開拓、県産農林水産物を使用した新商品・新サービス等の開発及び販路開拓に係る事業に対する助成を行います。	地域資源を活用、県産農林水産物を使用して新商品・新技術等を開発・事業化に取り組む中小企業者等を支援し、地域産業の振興を図ります。	R2 4/1~5/15 事業の募集(応募11件) 6月上旬 書面審査(採択7件) 6/17 交付決定 8、10月 廃止(計2件) R3 実績報告書提出後、支払い	商工労働部 産業振興課
		50	法人の森事業(法人の森協定)	社会貢献や環境活動を希望する企業や団体に対し、県有林の一部を「法人の森」として提供することで、CSR活動としての森林整備活動・森林環境教育活動をサポートします。	事業PR(ホームページ他)協定締結 2件	■事業PR ・11/1エコメッセ2020inちば オンライン開催 ※エコプロ2020 開催中止 ・県HPに新規協定候補地掲載 ■協定締結 新規2件	農林水産部 森林課
		51	里山活動促進事業	景観維持や県土保全等の里山の持つ多面的機能を持続的に発揮するため、地域住民や企業、里山活動団体等の多様な人々の参画による森林整備活動が促進されるよう支援を行います。	里山活動団体や企業が整備・保全する森林面積を増やします。	多様な主体による森林整備活動への参画や協働を支援するための総合窓口を設置(NPO法人に業務委託)し、各種相談対応等を行いました。 ・総合窓口相談件数 90件 ・チェーンソー取扱の安全講習会 1回開催 参加:14名 ・森林整備の技術講習会 1回開催 参加:16名	農林水産部 森林課
		52	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業(再掲)	自主防犯活動に意欲のある若い世代(県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満)により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図ります。 また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施します。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。	新型コロナウイルス感染防止のため、キャンペーン等のイベントが中止となったことに伴い、活動はありませんでした。令和2年度の新規会員数は6人でした。	警察本部 生活安全部 生活安全総務課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
4 地域の様々な主体と市民活動団体の連携・協働の促進	(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進	53	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業（再掲）	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催します。 さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施します。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。	・警察官との合同パトロール 785件 ・防犯講話 1,840件 ・広報啓発キャンペーン 265件 (令和2年度中)	警察本部 生活安全部 生活安全総務課
		54	千葉県警察学生サポーター「ChiPSS」活動	非行少年を生まない社会づくりの推進事業の一環として、少年の非行問題に関心があり、熱意と行動力を有する大学生を千葉県警察学生サポーターに委嘱(募集人員40人)し、警察、学校、地域と協働して、学習・スポーツ支援、居場所づくり等の立ち直り支援、街頭補導等の非行防止活動や健全育成活動を実施します。	少年の非行防止や健全育成活動を推進します。	・「ChiPSS」委嘱状況 28人 ・「ChiPSS」活動状況 延べ35回、62人 (内訳) 街頭補導活動 10回、19人 広報啓発活動 4回、4人 学習・スポーツ支援活動 6回、6人 居場所づくり支援活動 1回、2人 その他(研修等) 14回、31人 (令和3年3月末現在)	警察本部 生活安全部 少年課
		55	少年補導員・少年指導委員活動	少年の非行防止及び健全育成を図るため、少年警察ボランティアを委嘱し、地域住民と協働した街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。	街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。	・少年補導委員兼少年指導委員 509人 ・少年指導委員 75人 ・少年補導員・少年指導委員の活動状況 延べ 584回 (内訳) 街頭補導活動 235回 広報啓発活動 19回 環境浄化活動 3回 その他活動 327回 (令和3年3月末現在)	警察本部 生活安全部 少年課
	(2) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進	56	市町村と市民活動団体との連携促進事業	各市町村の協働に関する取組や市民活動支援センターの機能強化を支援するとともに必要に応じ専門家の派遣等を行います。	派遣回数6回	■専門的知見から助言を求める市町村に対して、専門家の派遣を実施 【結果】 ①8/28茂原市 まちびとカフェ・オンライン特別版 一般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事 山田泰久氏 ②11/4我孫子市 東葛飾地域NPO担当者会議 松下啓一氏(元横浜市職員、元相模女子大学教授) ③1/16木更津市 市民活動講座 (特非)ディーデモクラシーセンター副代表理事 加納基成氏 ④11/12白井市 語ろう!食と農のミライ@しろい 関東学園大学教授 中村正明氏 【中止】 ①2/28木更津市 令和2年度災害時連携・協働セミナー (特非)ディーデモクラシーセンター副代表理事 加納基成氏	環境生活部 県民生活・文化課
		57	学校と市民活動団体との連携促進事業	地域の民間教育力を活用した地域協働の活性化を図るため、教職員向けの講座を実施することにより、NPOと学校が連携するための環境づくりを促進します。	開催回数 1回	○10/29(講演動画視聴及び研修資料閲覧開始日) 教務主任等企画・運営リーダー研修「NPO活動と学校との連携に係る動向及び県外の優良事例について」 受講対象者:222名 講師:シチズンジップ共育企画代表 川中大輔氏、NPO法人ちばMDエコネット理事長 山田晴子氏	環境生活部 県民生活・文化課

施策の方向性	行動計画	No	事業名	事業概要	実施目標	結果	担当課
4 地域の様々な主体と市民活動団体の連携・協働の促進	(2)市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進	58	県・市町村推進会議の開催	効果的なNPO・ボランティア施策形成に向けて、県と市町村とが情報交換・意見交換等を行う推進会議等を開催し、県と市町村との一層の連携と協力を促進します。	県・市町村推進会議 2回開催 (内訳:担当課長会議:1回開催、担当者会議:1回開催)	○市町村担当課長会議 日程:4/23 実施方法:書面開催 ○市町村市民活動担当者会議 日程:12/23 会場:千葉市民会館小ホール 参加者:8名(市町村職員数のみ)	環境生活部 県民生活・文化課
		59	パートナーシップ推進員会議の開催	県庁内における市民活動団体及び市民活動推進施策に対する理解を促進し、協働の体制を強化するため、県行政の関係課職員をパートナーシップ推進員として指定し、推進員会議を通じて理解促進や情報共有を行います。	開催回数2回	○第1回 日程:8/11 場所:千葉市文化センター会議室 出席者:22名 内容:パートナーシップマニュアル及び千葉県県民活動推進計画(平成30~32年度)等の説明。 講演:日本郵便年賀寄付金配付事業のご紹介(講師:日本郵便株式会社 年賀寄付金事務局 竹山吾紀明氏) ○第2回 日程:12/23 場所:千葉市民会館小ホール 参加者(うち県職員のみ):14名 内容:ちばコラボ大賞表彰式及び事例発表会	環境生活部 県民生活・文化課